

外部評価

日経SDGs経営大賞の「社会価値賞 2025」を受賞

島津製作所は、第7回「日経SDGs経営大賞」の「社会価値賞」を受賞しました。日経SDGs経営大賞は、国連が定める「持続可能な開発目標(SDGs)」への貢献と企業価値向上を両立した先進企業を表彰するもので、「日経サステナブル総合調査」に基づき、有識者で構成する審査委員会が上場企業を中心とした830社の回答企業を総合的に評価しています。その部門賞「社会価値賞」は、「人権の尊重」「社会貢献活動」「労働時間・休暇」「ダイバーシティ」「人的資本経営」への取り組みが優れている企業に贈られます。当社は昨年、経営トップによる発信や、ビジネスでの貢献、業績などの指標で表彰する「SDGs戦略・経済価値賞」を受賞しました。「社会価値賞」は今回が初めての受賞となります。「日経サステナブル総合調査」を評価した「SDGs経営編」の格付けでは、星4.5(偏差値65以上70未満)を獲得しました。



「社会価値賞」受賞式にて登壇した当社執行役員 井原
(写真右 2025年11月27日東京都内)

島津グループは、社是、経営理念のもと、島津グループサステナビリティ憲章を制定し、中期経営計画では当社の目指す姿として「プラネタリー・ヘルスの追求」を掲げて4つの社会価値創生領域で事業を展開しています。社員が力を発揮できる環境を提供するために、スロー・ガン「Embrace Differences, Include One and All(違いを認め、受け入れよう)」を掲げるDE&I経営と、社員一人ひとりが健康で安全に生き生きと働くことを目指す健康経営を進めています。

また、「島津グループのすべてのステークホルダーの人権尊重が企業活動の根幹である」という認識のもと、「島津グループCSR調達ガイドライン」を制定しています。その中でも、製品の部品や原材料に紛争鉱物^{*}の紛れ込みを防ぐために「OECD(経済協力開発機構)の紛争鉱物デュー・デリジェンスガイド」に従っています。

小・中・高校生に「理科や科学に興味を持つもらう」ことを目的に、2007年から分析計測機器を使った「島津ぶんせき体験スクール」を200回以上実施しています。これまでに約1万人が参加しました。また、「島津製作所の森」(京都府南丹市、52ヘクタール)で、従業員やその家族がボランティアとして、環境の保全に取り組んでいます。さらに、島津製作所のスポーツチーム「SHIMADZU Breakers」が、テニスやラグビー、野球の体験イベントを通じて、スポーツ振興や地域貢献に寄与しています。



島津ぶんせき体験スクール



「SHIMADZU Breakers
(テニス・ラグビー・野球)」による
合同スポーツイベント

社会課題への対応として、2024年に、メタンガスやCO₂など農地由来の複数の温室効果ガスを同時に計測し、カーボンニュートラルの実現に向けた研究を支援する「温室効果ガスアナライザー」を発売しました。また、2025年には、誤差が100億年に1秒という高精度を誇り、地殻変動の観測などへの応用が期待される「光格子時計」を世界で初めて発売するなど、先端技術を通じて社会課題の解決に貢献しています。

Webサイトには以下の情報を掲載しています。
<https://www.shimadzu.co.jp/ir/stock/evaluation.html>
外部評価



日経SDGs経営大賞の「SDGs戦略・経済価値賞 2024」を受賞

2024年11月26日、日本経済新聞社が主催する「第6回日経SDGs経営大賞」の表彰式が開催され、島津製作所は「SDGs戦略・経済価値賞」を初めて受賞しました。生態系に影響を与える有機フッ素化合物(PFAS)の検出、マイクロプラスチックの成分の分析など当社製品による健康や環境問題の解決に向けた取り組みが評価されました。「日経SDGs経営大賞」は事業を通じて、国連が定める「持続可能な開発目標(SDGs)」への貢献と企業価値向上を高いレベルで両立している最も優れた企業に贈られます。大賞となる「日経SDGs大賞」の他、部門賞として「SDGs戦略・経済価値賞」、「社会価値賞」および「環境価値賞」に各1社が選ばれます。

本表彰は「日経サステナブル総合調査」を元にしています。この調査結果に基づく、「SDGs経営編」の格付けで「SDGs戦略・経済価値」、「環境価値」分野で高評価を受け、最高位 星5(偏差値70以上)を獲得しました。また、同様にGX(グリーントランスフォーメーション)関連の脱炭素経営「GX500」では、温暖化ガス削減の具体策や、省エネ・再生可能エネルギー活用の取り組みが評価され、前回調査54位から4位に順位を上昇させました。



「SDGs戦略・経済価値賞」を受賞した当社代表取締役
社長 山本(写真右 2024年11月26日東京都内)



PFAS分析等に使用する
高速液体クロマトグラフ質量分析システム



マイクロプラスチックの抽出・回収工程を世界
で初めて自動化したマイクロプラスチック
自動前処理装置MAP-100

外部評価

Webサイトには以下の情報を掲載しています。
<https://www.shimadzu.co.jp/ir/stock/evaluation.html>
 外部評価



主なインデックス組み入れ状況



社外からの評価・表彰・認定



島津製作所が参画している主なイニシアティブ

